

幡多地域アクションプランの進捗状況等について

(第3四半期)

幡多地域アクションプランの進捗状況等について（第3四半期）

H 2 5 . 2 . 6

幡多地域本部

1 地域アクションプランの実施状況（総括）

(1) 総評

幡多地域のアクションプラン（40 案件）は、当初計画に沿って概ね順調に進捗している。

特に、農林水産物の加工品等の取組に関しては、今後、地域の基幹産業として大きく成長していくには、販路のさらなる拡大等の課題はあるものの、販促活動の強化により、販売量の増加がみられるものがある。

また、産業振興推進総合支援事業費補助金を活用して、事業規模や販売量の拡大に取り組んでいるものもある。

さらに、地域の産業を担う人材育成の面では、6 団体が「目指せ！弥太郎 商人塾」に参加して商品の磨き上げに、観光関係者がとさ旅セミナーに参加して、地域の素材を活かした観光商品の開発、販売に取り組んでいる。

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>安定した農業経営体づくりと地域に根ざした有望品目づくり</p> <p>■No. 1 水稻と露地野菜を基幹とした水田農業の担い手育成（幡多地域全域）</p> <p>・ J A 高知はた</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模志向農家ネットワーク化の準備と有望品目の検討 ・ 葉タバコ農家を対象とした意向調査の実施 ・ 大規模経営先進地（香川県）を調査、研修（10 名参加） <p>[課題と今後の対応]</p> <p>管内には大規模農家の事例が少ない ⇒大規模志向農家のネットワーク化</p>
<p>■No. 3 三原村農業公社を核とした農業支援システムの構築（三原村）</p> <p>・（財）三原村農業公社</p> <p>・ 三原村</p> <p>・ J A 高知はた</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと雇用事業で 5 名、緊急雇用事業で 11 名を雇用 ・ 販路拡大に向け県産業振興アドバイザー制度を活用 ・ ユズの収穫量は 23 年度をやや下回るものの、青果出荷率は向上 (H23:4.2%→H24:10.2%) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>更なるユズ産地の拡大 ⇒第 2 期ユズ産地化計画策定中 (H23:28ha→H27:50ha) ⇒青果率の更なる向上</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.6 有望品目への転換を含めた、大方南部地域の産地再生(黒潮町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町 ・J A高知はた <p>■No.20 直七の生産、加工、販売の促進(宿毛市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七生産組合 ・直七の里(株) <p>■No.27 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト(四万十市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)しまんと美野 ・四万十川を良くする会 ・四万十市 ・西土佐商工会 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある園芸産地活性化事業による、点滴灌水実証圃2戸(カスミソウ・ニラ)の設置 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>水源地(用水量)の調査及び確保 ⇒地権者協議と揚水方法(経費)の検討 点滴灌水実証圃の検証、点滴栽培に向けたマニュアルの作成</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと雇用事業で1名を雇用 ・取引企業者数64社(商談中含む) ・新商品を開発中(アルコール飲料) ・直七の日(10/7)に、「まるごと高知」で直七の青果配布と加工商品のPR販売を行い好評 ・H24の搾汁は25.3t(H23の154%)に増加 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>搾汁施設の稼働率向上 ⇒直七以外の搾汁を実施</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの県外企業に加え、県内企業への積極的な営業活動の結果、10社、1.6tを受注 ・今年の栗が不作であり原材料の確保に苦慮 ・鬼皮剥き装置を高知工業高等専門学校と共同開発 ・栗の鮮度管理と保存中の黒変化(炭そ病)の防止法について、高知県立大学、工業技術センター等と産学官連携で共同研究 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>原材料の確保 ⇒集荷及び買い支えによる確保数量の増 既存栗園の再生</p>
<p>森林資源の活用促進</p> <p>■No.7 森の工場・間伐の推進(幡多地域全域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森の工場の認定を受けた事業体 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度までに22工場認定 ・平成24年度に4工場認定 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>木材価格の低下(特に檜材) ⇒作業効率の向上(作業道路整備、特殊機械の導入)</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.9「四万十の家」と地域産ヒノキの販売の推進(四万十市)</p> <p>・四万十市</p> <p>■No.10 町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業(大月町)</p> <p>・大月町備長炭生産組合</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市産材利用促進事業の継続実施(受付件数 21件、工事完了件数 5件) ・H24.10.31に東京都港区と「間伐材を始めとした国産材の活用促進に関する協定」締結 ・四万十ヒノキ関連イベントへの参加(TOSAZAI展、エコプラダクツ2012等) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>四万十ヒノキのPR強化 ⇒四万十ヒノキブランド化協議会での検討及び各種イベントへの参加</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興総合補助により、新たに製炭窯(4基)がH25.2月に完成予定(計7基) ・ふるさと雇用事業で1名、緊急雇用事業で2名を雇用 ・下級品の販路拡大(枕メーカーに納入) ・製炭窯のメンテナンスを実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>原木の確保 ⇒原木の伐採人役を確保(生産量の向上)</p> <p>体制の整備・強化 ⇒大月町備長炭生産組合を法人化</p>
<p>安定した漁業生産を目指す取組</p> <p>■No.19 大月町種苗生産施設活用による県内産養殖種苗のシェア拡大(大月町)</p> <p>・大月町</p> <p>・(株)山崎技研</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興総合補助金により、マダイ、シマアジ等の海上育苗施設を整備 ・H24.7月、8月にイサキ30万匹、ノコギリガザミ約600匹を放流 ・H24.11月にマダイとシマアジの採卵を入荷して孵化、12月下旬にマダイを海上の小割に移し育苗 ・カンパチの採卵を入荷して孵化 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>カンパチの種苗技術確立 ⇒県の水産試験場と連携して技術確立を目指す</p>

点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 33 カツオ文化のまちづくり事業(黒潮町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町商工会 ・黒潮町 ・高知県漁協 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新荷捌・鮮度維持システムの導入及び水揚奨励金の実施により水揚実績をアップ ・もどりカツオ祭の開催(10/20) 参加者数:約6,000人(H23:約5,000人) ・「ぐるなび」への「日戻りカツオ」の掲載(10月号から6回掲載予定) ・黒潮一番館の利用者は増加傾向にある <p>[課題と今後の対応]</p> <p>カツオ文化のまち佐賀の周知 ⇒メディアを活用したPRや町内外イベントでのPR活動</p>
<p>地域産物を活用した6次産業の振興</p> <p>■No. 11 地域活性化のための魚加工・販売体制の強化・推進(宿毛市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すくも湾漁業協同組合 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと雇用事業で4名を雇用 ・鮮魚加工商品(冷凍フィレ)の製造販売 ・高知県内外の病院、学校給食用等に営業を実施(現在の取引先36社) ・居酒屋チェーン店にキビナゴ凍結を納入 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>収益性の向上 ⇒主力商品であるキビナゴバラ凍結の安定的な生産作業効率の向上</p>
<p>■No. 12 宿毛湾を中心とする地域水産物の流通・加工体制の推進(宿毛市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ピアースーティー 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鮮魚加工商品(冷凍フィレ等)を系列チェーン店に出荷 ・春の鯛フェアで宿毛市をPR(系列チェーン店舗) ・贈答用商品(干物)を「まるごと高知」でテスト販売 ・タイ、イサキ等の粕漬けのセットをネット販売 ・売上は前年度を上回って推移している。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>従業員の確保(H24.10月:20名) ⇒ハローワークで募集中(4~5名の雇用を募集中)</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 民間企業との連携による水産物の販路拡大(宿毛市・大月町)</p> <p>・すくも湾漁業協同組合</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鮮魚を使用した加工(惣菜)商品の製造出荷が順調 ・提携先店舗に加えて、新たなチェーン店にも取引開始 ・H24.4~12月の製造、出荷量とも、前年同期の3.2倍 ・工場はフル稼働の状況 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>原魚の安定確保 ⇒安価な時期に購入して冷凍保存(すくも湾漁協の新冷凍施設を活用)</p>
<p>■No. 20 直七の生産、加工、販売の促進(宿毛市)(再掲)</p> <p>・直七生産組合</p> <p>・直七の里(株)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと雇用事業で1名を雇用 ・取引企業数64社(商談中含む) ・新商品の開発中(アルコール飲料) ・直七の日(10/7)に、「まるごと高知」で直七の青果配布と加工商品のPR販売を行い好評 ・H24の搾汁は25.3t(H23の154%)に増加 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>搾汁施設の稼働率向上 ⇒直七以外の搾汁を実施</p>
<p>■No. 21 地域の素材を活用した「おいしいもの」づくり(宿毛市)</p> <p>・(有)与力</p> <p>・幡多美味工房</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材を使用した新商品の開発 ・「ハレノヒプリン」がモンドセレクション銅賞受賞(プリンの販売数36,720個) ・オリジナルの商品(野菜ジャム:なす、かぼちゃ、トマト)を開発し、自社販売ルートで12月から販売開始 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>販売促進 ⇒県内量販店での催事参加</p>
<p>■No. 23 地域資源を統括したプログラム構築によるしみずの元気再生事業(土佐清水市)</p> <p>・(株)土佐清水元気プロジェクト</p> <p>・土佐清水市</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外等の催事での販促PR活動(東京、愛知、大阪、兵庫、広島、愛媛で計7回、県内7回) ・商談会等で商談150件、新規取引10業者 ・大阪のアンテナショップ「とさしみず屋」の運営形態の見直し(直営から委託に切替) ・産業振興センターの経営革新計画支援事業の活用によるOEM体制づくり

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 25 地元農産物を使った商品開発事業(四万十市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市 <p>■No. 27 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト(四万十市)(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)しまんと美野里 ・四万十川を良くする会 ・四万十市 ・西土佐商工会 <p>■No. 32 黒潮印の商品開発(黒潮町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町 ・黒潮町特産品開発推進協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発(ダシジュレ、ダシ味噌、ダシにんじんドレッシング) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>売れ筋商品の販路拡大 ⇒競合する商品が多い中での販路拡大を行っていくための戦略づくり</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発及び販促活動(新規取引6件成約) ・まるごと高知の「四万十フェア」での販売 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>販路の拡大 ⇒各種イベント等でのPR</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの県外企業に加え、県内企業への積極的な営業活動の結果、10社、1.6tを受注 ・今年の栗が不作であり原材料の確保に苦慮 ・鬼皮剥き装置を高知工業高等専門学校と共同開発 ・栗の鮮度管理と保存中の黒変化(炭そ病)の防止法について、高知県立大学、工業技術センター等と産学官連携で共同研究 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>原材料の確保 ⇒集荷及び買い支えによる確保数量の増 既存栗園の再生</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品の企画、開発から販売までを支援する町単独補助事業の創設(交付決定件数7件) ・黒潮印ブランド認証制度の制定(認証10商品(4事業者)、応募は46商品(14事業者)) ・すなびてんぽ開設(6/21)(砂浜美術館のウェブサイトイベント情報やスポーツ施設、特産品情報等を発信するとともに販売も行うサイト) ・試験的に導入したサトウキビの新品種「黒海道」は、現時点では、収穫量、糖度とも期待された成果を挙げつつある。 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>特産品開発推進協議会の売上増 ⇒新商品の開発によるアイテムの充実</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>地域再生への総合的な取組</p> <p>■No. 22 土佐清水市地域再生計画(大岐地区等の開発計画)(土佐清水市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐食(株) ・土佐清水市 <p>■No. 28 西土佐拠点ビジネス推進事業(売り出せ西土佐プロジェクト)(四万十市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市 ・西土佐商工会 ・地域事業者等 <p>■No. 29 拠点ビジネスの推進(大月町まるごと販売事業)(大月町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(財)大月町ふるさと振興公社 	<p>主力商品である黒糖やらっきょう漬けの販路の拡大 ⇒黒潮印ブランド認証による商品の高付加価値化 特産品開発推進協議会の体制強化 ⇒株式会社化に向けて出資予定団体(黒潮町、農協等7団体)の設立趣意書の了承</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原魚取扱量が前年度と比較して約3%の増 ・食品の販路拡大(11月末時点で新たに33店舗との取引開始、計224店舗) ・展示会等への出展(商談57件、成約16件) ・24年度の売上は引き続き増加の見込み <p>[課題と今後の対応]</p> <p>食品の更なる販路拡大 ⇒新商品の開発及び販促活動</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急雇用事業で2名を雇用(既存直販市) ⇒うち1名が商人塾(臼井コース)受講(7/11～6回) ・道の駅検討会及び整備幹事会の開催 ・西土佐うまいもの商店街開催(11/11、参加者1,100人) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>基本計画の策定 ⇒今年度策定に向けて幹事会、検討会で検討中</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレハブ冷凍庫、液体充填機械の導入(リース) ・H24.4～11月の販売額は、108,097千円(前年同期の104%)と増加 ・入客数は、123,311人(前年同期の100.5%)と微増 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>外商の拡大 ⇒町内の他事業者と「大月まるごと販売プロジェクト」を立ち上げ連携して販売促進</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 34 佐賀地区の地域資源を活用した拠点ビジネスの推進(黒潮町)</p> <p>・黒潮町</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さが道の駅施設詳細設計の委託(町単) ・道の駅予定地の造成開始(町単) ・道の駅設立準備委員会において、道の駅の運営を行う新株式会社の定款案の承認及び運営主体の決定 ・道の駅の事業計画を協議中 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>施設内容の決定</p> <p>道の駅の成功に向けた戦略づくり</p> <p>⇒道の駅設立準備委員会におけるWGによる検討</p>
<p>滞在型・体験型観光の推進</p> <p>■No. 36 幡多広域における滞在型・体験型観光の推進(幡多地域全域)</p> <p>・(社)幡多広域観光協議会</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行(小学校5校、中学校6校、高校5校 計1,855人)、一般旅行(2団体、77人)の受入 ・NPOグローバルキャンパス理事長 大社充氏を組織強化アドバイザーとして受入(月2回ペースで実施) ・荒天時受入が可能な幡多公設市場での体験プログラムの整備、受入開始(5/30:55人、6/7:17人) ・広域観光情報誌「山川海」の配布(3万部) ・観光施設等でのマーケティング調査の実施(8月、9月1,000サンプル) ・緊急雇用1名(事務局員) ・県から1名事務局長を配置 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>受入観光客の増</p> <p>⇒一般向け旅行商品の開発と販促活動の充実</p> <p>地域博覧会の開催</p>
<p>■No. 37 竜串観光再発見事業(土佐清水市)</p> <p>・土佐清水市</p> <p>・土佐清水市観光協会</p> <p>・NPO竜串観光振興会</p> <p>・竜串地区</p> <p>・竜串自然再生協議会</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO竜串観光振興会による海のギャラリーの管理運営(継続した取組) ・奇岩をテーマとした観光客誘致活動(ポスター・チラシの作製・配布、テレビ放送) ・出会いのきっかけづくり事業への参画(9/8~9/9 参加者34人) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>地域の観光資源を活かした具体的な戦略展開</p> <p>⇒竜串観光の継続したPR(市単事業)</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 38 土佐清水市まるごと戦略観光展開事業(土佐清水市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(社) 土佐清水市観光協会 ・地域活動団体 ・土佐清水市 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ジョン万海の元気まつり」の開催(GWイベント入場者数4,300人、海の日記念入場者数1,500人) ・香港国際旅行展に「四国の秘境」として出展し、現地旅行者や一般来場者にPR(6/12~6/15) ・元気プロジェクト直営レストランスペースの再整備(物販スペースの拡張) ・ジョン万次郎資料館で交流展開催(7/14~10/28、入場者数4,400人) ・「足摺きらり」の開催(11/23~25、来場者数2,800人) ・宿泊者を対象に地域商品券(500円×2枚)をプレゼント(11月~4,346枚) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>地域の特性、資源を活かした体験型プログラムの造成 ⇒観光団体、事業者等の観光人材育成塾への参加</p>
<p>■No. 39 四万十市の地域資源を活かした通年・滞在型観光の推進(四万十市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市観光振興連絡会議 ・奥四万十楽しまんとプロジェクトチーム ・四万十市 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十花絵巻の開催(菜の花、桜、花菖蒲、紫陽花、睡蓮、曼珠沙華) 来訪者26,610人 宴参加者610人 ・モニターツアー受入 228人(遊覧船24人、蛍3人、幡多フェス5人、レンタサイクル32人、民宿74人、食の祭典90人) ・愛媛県と連携したサイクルトレイン等サイクルイベントの開催 ・緊急雇用:4事業16人 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>通年・滞在型観光に向けた観光商品の開発 ⇒観光人材育成塾への参加者による観光商品開発 テレビドラマのロケ地を活かした観光客の誘致</p>
<p>■No.41 黒潮町の地域資源を活かした体験型観光の推進(黒潮町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO砂浜美術館 ・黒潮町 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂浜美術館Tシャツアート展開催(5/2~5/6 14,260人) ・作品見つけの旅・春、夏モニターツアーの実施(春5/4~5/5 9人、夏8/4~8/5 5人) ・シーサイドギャラリー夏2012の開催(8/15):参加者 約12,000人 ・スポーツ大会・合宿の誘致による宿泊客の増 <ul style="list-style-type: none"> ・ミズノグローイングアップリーグ(7/24~26) 8チーム229人 町内2~4泊

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・高校サッカー大会(8/1~2) 10校243人 うち2校54人1泊 ・平城高校合宿(8/4~7 55人町内1泊、12/21~24 22人町内3泊) ・サッカー選手権大会高知県大会(10/20~21) 4チーム 約90人 町内宿泊 など <p>[課題と今後の対応]</p> <p>宿泊観光客の増 ⇒スポーツ大会、合宿の誘致活動の強化 アドバイザーによる体験プログラム指導内容のブラッシュアップ</p>

②上記以外で特記すべき取組 特になし

2 平成24年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
■No. 10 町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業(大月町)	・町内のウバメガシを使った備長炭生産による雇用創出 (製炭窯4基の整備)	18,175 (12,116)
■No. 19 大月町種苗生産施設活用による県内産養殖種苗のシェア拡大(大月町)	・マダイ、シマアジの種苗生産体制確立による市場シェア拡大 (海上育苗施設の整備)	10,855 (7,237)
■No. 18 キビナゴ加工商品の生産体制強化(大月町)	・地元水産物利用促進による浜値向上と雇用創出 (商品パッケージの磨き上げ、販売促進)	2,376 (1,187)
■No. 16 宗田節の販路拡大に向けた取組(土佐清水市)	・宗田節の新商品の開発(補助対象外)やPR等による消費の拡大 (新商品を活用したPR、テレビCMの放送)	4,999 (833)
■No. 35 水産物加工施設整備事業(黒潮町) ※ステップアップ事業	・魚醤の販売促進 (まるごと高知での市場調査、各種展示・商談会への出展)	1,294 (647)
■宗田節加工販売促進事業(土佐清水市) ※ステップアップ事業	・商品開発のための機器導入及び販売促進 (宗田節のダシの素の開発、商品ロゴ・パッケージのブラッシュアップ)	1,151 (575)

3 県民参画に向けた取組

- ・中村商工会議所役員会（5/15）、西土佐商工会総会（5/18）での第2期計画、土佐の産業おこし参加プラン及び土佐MBAの説明並びに産業振興計画シンポジウムの開催（6/9）のPR
- ・各市町村商工会（商工会議所）へ個別に訪問し、上記の説明及びPR（4月下旬～5月下旬）
- ・地域アクションプランの事業者に上記資料を個別に配布しPR
- ・対話と実行行脚の訪問先である土佐清水市及び三原村の事業者、地域団体等に上記資料を配布・説明
- ・産業振興シンポジウムの開催地である四万十市のJA高知はた、観光協会及び事業者等にシンポジウムのチラシを配布しPR
- ・大月町の広報誌4月号「町内アクションプランの取組紹介」、6月号「第2期計画、土佐の産業おこし参加プラン、土佐MBAの紹介」、8月号「地域支援企画員の活動紹介」、10月号「地域アクションプランの活動報告」、をPR
- ・四万十市の広報誌6月号、土佐清水市の広報誌6月号及び黒潮町の広報誌6月号で土佐の産業おこし参加プランの紹介
- ・宿毛市の広報誌6月号で土佐MBAの紹介
- ・高知銀行との包括協定連絡会（7/20）
- ・幡多信用金庫と産業振興に関する包括協定を締結（8/2）
- ・幡多地域の地区長会で産業振興計画の説明（8/3）
- ・四国銀行との包括協定連絡会（8/21）
- ・幡多信用金庫との包括協定連絡会（9/6）
- ・産業振興計画（移住促進）について、市町村、中村商工会議所へ説明（10/3、10/11他）
- ・幡多地域における各種イベント（10月～12月開催）のポスター・チラシのパネル展示（10/6～10/17 県庁1階）
- ・中村商工会議所青年部との産業振興計画、地域AP等に関する懇談（10/17）
- ・幡多若手サミット（11/18）
- ・「きみに会いたいフェス」（12/1）
- ・客船誘致モニターツアー（12/4～5）
- ・移住について市町村担当課長へ説明（12/10～17）

4 相談案件：5件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/4	観光	養老馬の受入れ環境と、馬との触れ合う環境整備。
2	5/7	観光	四万十川沿いに季節の花を植栽した観光スポットづくり。
3	6/6	水産流通	「土佐の産業おこし参加プラン」の申請に関する相談。
4	7/9	農林	「洋ランの販売促進」について。
5	10/11	環境	「魚の残渣を利用した堆肥化工場」について。